

2018年9月28日

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

2018年東海3県主要集客施設・夏休み集客実態調査

～ 猛暑・豪雨・台風で約8割の施設が集客数減～

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：村林 聡）は、「2018年東海3県主要集客施設・夏休み集客実態調査」の結果を取りまとめましたので、お知らせいたします。

調査概要

本調査は、東海地方の主要集客施設80施設に対しアンケート調査（2018年9月）を実施し、集客数について回答を得られた76施設の夏休み（7月21日～8月31日の42日間）の集客実態を分析しました。

調査結果(要旨)

- 猛暑・豪雨・台風の影響で約8割の施設が集客数減少 ～屋外型施設に打撃～
- 集客数はナガシマリゾートが12年連続トップ ～プール利用が好調～
- 外国人旅行者は団体客の伸びが落ち着き、個人客は増加傾向
- 集客におけるSNSの影響力が増大

調査結果の詳細につきましては、当社公式ホームページ掲載の[政策研究レポート](#)をご覧ください。

【本件に関するお問い合わせ】

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

観光政策室[名古屋] 研究員 加藤 千晶 観光政策室長 上席主任研究員 田中 三文

E-mail: tourism@murc.jp

〒461-8516 名古屋市東区葵 1-19-30 マザックアートプラザ

【報道機関からのお問い合わせ】

コーポレート・コミュニケーション室 竹澤・村田・杉本 TEL: 03-6733-1005

E-mail: info@murc.jp

配布先 名古屋金融記者クラブ